

横浜地区連絡協議会

横浜地域連合 第32 回定期総会レポート

横浜地域連合第32 回定期総会が2022 年11 月29 日(火)、ワークピア横浜において開催されました。傳田代議員(全水道)・福井代議員(自動車総連)が議長団に選出、資格審査より代議員数66 名に対し出席代議員56 名・委任状3 名で総会の成立を確認の報告があり開会されました。

冒頭、高橋議長より横浜地域連合としてここ数年つよい活発な活動が出来た一年と振り返られた。また第26 回参議院議員選挙では、比例選挙・神奈川選挙区ともに支援政党2 分の分けた体制での対応した選挙となり、その結果と抱える課題がさらに混迷を深めた。今後の対応について議論を行っていく必要があると話された。

その後、上部団体である連合神奈川から金井副事務局長が挨拶をなされ、続いて山中横浜市長からいただいたメッセージを大会議長が代読されました。その後、かながわ労働センター青木所長・立憲民主党青柳議員・国民民主党小柴議員の挨拶があり、各級議員が紹介されました。

議事に入り、加賀谷事務局長より「2022 年度一般活動報告」と「2023 年度活動方針」が提案されました。その後の「役員体制(案)」では高橋徹氏(運輸労連)が副議長に再任されました。その後、高橋徹議長(運輸労連)が「総会宣言(案)」を提案して全ての議案が満場一致で決定され終了しました。最後は新議長に選出された秋山議長の発声により、団結ガンバロウを三唱して閉会されました。

(ヤマト 労組横浜支部 鈴木善夫)

横浜地域連合第32 回定期総会が11 月29 日にワークピア横浜にて開催されました。

冒頭、議長に全水道の傳田代議員と自動車総連の福井代議員が選出され、資格審査より代議員数が66 名に対して出席が56 名と委任状の3 名により総会成立宣言がなされ総会が開会しました。

横浜地域連合議長挨拶にて高橋議長よりコロナ禍の中でしたが多くの活動が出来たと大変嬉しく思うとの報告があり、今年の参院選に対しては立憲と国民の二極化により混迷が生じた件で、これからの活動に多くの課題があり、しっかり討議しなければならいとお話がありました。

来賓挨拶として連合神奈川の金井副事務局長、山中横浜市長よりメッセージを議長が代読、かながわ労働センターの青木所長、立憲民主党の青柳議員、国民民主党の小柴議員より挨拶を頂き、その他にも多くの議員が総会に対し一言づつ祝辞をいただきました。

議事に移り、加賀谷事務局長より1 号議案 2022 年度一般活動報告、2 号議案 2023 年度活動方針、3 号議案 役員体制(案)では高橋議長と小田議長代行、小杉事務局次長、鹿島会計監査が退任され、新たに電機連合の鐘ヶ江議長代行、JAM 神奈川の鈴木副議長、電気総連の長谷川事務局次長、電機連合の竹下会計監査の新任が承認されました。

そしてヤマト 労組横浜の高橋委員長が副議長に再任されました。

その後、総会宣言(案)を高橋徹副議長が提案をし満場一致で承認され、新旧役員挨拶の後、秋山新議長よりガンバロウ三唱をして閉会となりました。

(ヤマト 労組横浜支部 佐藤井左夫)

